

2016年度高等教育研究センターFD

ICTを活用した

アクティブ・ラーニング

【メイン会場】

信州大学松本キャンパス旭会館3階大会議室

※教育学部・工学部・農学部・繊維学部のSUNS会議室に遠隔配信を行います。

1.平成28年11月15日(火) 16:30～18:00

「ミニマル・ガジェット」アクティブ・ラーニングのススメ

講師:佐藤 実(さとう みのる)

(東海大学清水教養教育センター(物理学担当) 講師)

アクティブラーニングの効果的な展開には各種ICT機器の活用が有効だと喧伝され、さまざまな機器やソリューションが紹介されている。しかしICT機器に代表されるガジェットが授業を進めてくれるわけではない。手持ちの道具で始めて、解決できない問題や不便の解消のためにガジェットを導入するのはいかがだろう。図らずも「ミニマル・ガジェット」で始めた事例を紹介し、アクティブラーニングにおけるICT活用について考えてみる。

2.平成28年12月8日(木) 10:40～12:00

ICTを活用した外国語アクティブ・ラーニングの一例

講師:岩居 弘樹(いわい ひろき)

(大阪大学全学教育推進機構 教授)

iPadを活用しながら外国語をアクティブに学ぶ事例をご紹介します。
理系学部向けドイツ語入門クラスでは、音声認識アプリを利用した発音練習や、グループで学習成果を収録するビデオ撮影プロジェクトを行いながら、ドイツ語での発信力を鍛えています。また2013年から留学生の支援をうけて実施している多言語演習も軌道にのってきました。
ICTを道具として能動的に学び、自らの姿や学習成果を客観的に振り返る学習スタイルをご覧くださいと思います。

※申込みは不要ですので当日お気軽にご参加ください。

